

令和元年度 大阪府立八尾支援学校 第2回学校運営協議会報告

□日 時 令和元年11月29日(金) 10時～12時

□場 所 大阪府立八尾支援学校 校長室

□学校運営協議会委員会名簿

◆学校運営協議会委員（50音順）

岡崎 裕子 (大阪大谷大学 教育学部 教授)  
熊谷 友紀子 (東大阪市立第一はばたき園 園長)  
辻内 文子 (八尾市障がい福祉課 課長)  
西 千志 (本校 PTA 会長)  
西 喜一 (上之島地区福祉委員会 委員長)  
山崎 高義 (東大阪市立障害者就業・生活支援センター 所長)

◆大阪府立八尾支援学校

東野 裕治 (校長)  
森本 裕 (准校長)

◆学校運営協議会事務局

岡本 泰宜 (教頭)	山田 美也子 (教頭)
山崎 静一 (事務長)	荒木 智恵子 (首席)
井川 忠都 (首席)	松永 記一 (首席)
荒木 聖 (首席)	松村 由美 (小学部主事)
藤田 景一 (中学部主事)	増本 香 (高等部主事)

□出席者

- ◆ 委員6名、校長、准校長、事務局10名、報告者1名 計19名
- ◆ 傍聴者7名（本校 PTA）

□次第と協議内容（要約）

○校長あいさつ

○【授業見学・施設見学】

①高等部3年「職業」

○令和2年度使用教科用図書を選定（報告）

- ・児童生徒の発達段階に応じて選定。学年で重複したものがないか確認。

○学校見学会（報告）

- ・参加者は、小学部は前期・後期ともに多く、中学部も例年通り多かった。高等部は次年度の校区割り変更で八尾市在住の方のみとなったため、例年より少なかった。

- ・来年度からは、前期後期各2日ずつとし、小・高と中で分けて行う予定。

## ○八尾アスレチックフィールド（学校経営推進事業）の進捗状況（報告）

- ・10月～11月上旬に、ボルダリングウォール、築山の芝生化（来年5月まで養生が必要）、ウッドチップコースを設置。ボルダリングウォールはルール作り等ソフト面を検討し、児童生徒・教員に徹底した上で11月25日から使用開始。今後も、より安全に使用するための対策を講じていく。

## ○【授業見学・施設見学】

- ①アスレチックフィールド
- ②中学部1年「社会・理科」
- ③小学部3年「音楽」

## ○委員からの提言等＜質疑応答・意見・感想等＞

\*授業見学では、教員が一人ひとりに丁寧に関わっている印象。視覚的にわかりやすく示されていることや、やりがいや達成感を大切にされていると感じた。

Q：教科書選定はどのような点を大事にしているのか。

A：各教科の専科の教員を中心に、児童生徒がどこまで習得できているか検証し、課題や実態に応じた教科書選定となるように話し合っている。

Q：小学部の見学者数、入学者数がともに増えているという点について、傾向があるのか。

A：早い段階で障害のある児童に支援することの大切さが世間に広まってきた。個別に配慮された教育を望まれている。全国的な傾向で、今後も増える見込みだが、要因は特定されていない。

Q：公共交通利用のマナーなど、クラスによって違うのか。

A：習熟度によって分かれているが、一人で出かけると想定できるグループでの内容であった。

Q：性教育はどうしているか。良い教材があれば教えてほしい。

A：高等部では「こころとからだ」という授業を全学年で取り組んでいる。教材については年に一度研修会を行い、各部の取り組みを共有している。「手をつなぐ育成会」から出ている本は使いやすい。

\*Q：「職業科」の授業で見学した「喫茶」について、ねらいはどこで、どのように発展させるのか。他にカリキュラムが用意されているのか。

A：作品展の行事の際に、「キャリアサポートプログラム」として販売実践を行う予定で、日頃の職業実践の成果を発表すること、また将来の疑似体験をねらいとしている。今後、小・中・高と連携した取り組みとしていきたいと考えている。フロンティアコースの生徒にとっては、企業で働くスキルの育成をねらいとする。

Q：ビジネスマナーの教科書について、教師が共通認識した上で使う必要があるが、どうか。事業所でも、やっている人によってニュアンスが違うことがある。

A：准校長から教員向けのビジネスマナー研修を行っている。また、フロンティアコースの生徒においては、「Cステップの研修」や企業体験実習などを通して、ビジネスマナーの均等性は取れていると考えられる。

\*Q：ボルダリングについて、安全の面から基準はあるのか。

A：専門業者が作ったので、安全面は保証されている。使用のルール等ソフト面についてこれからも充実させ、しっかり取り組んでいく。

Q：ウッドチップコースのウッドチップは永久的なものか。

A：使っていくうちに、踏みしめられて固まっていくものであるが、管理もチップの補充も必要である。

\*ボルダリングウォールについて。楽しそうに取り組んでいた。メンテナンスなども必要だが、安全に効果的に進めてほしい。ウッドチップコースも、歩いてみたらバランスを取るという意味に気づいた。教科書については、「ぐりとぐら」シリーズなど点字バージョンもあり、図書としても良い。ユニバーサルデザインの面から、LLブックなどもあり、教材提供もできればと考える。

Q：今日のような授業見学で、小学部から高等部までいろいろな子どもの様子が見られることにより、意見を出しやすくなる。教員も見ることにより連携が深まるのでは。

A：教員にも校内授業見学月間を設けている。

#### ○府教育委員会への提言について（検討）

\*教員の資質向上に向けた人事異動・交流について

#### ○准校長あいさつ

#### ○閉会